

吹田市立南山田小学校 学校だより

緑の虹

JUNE



令和8年5月28日(木)



水泳シーズン到来

校長 佐野 賢治

暑い日が続きます。南山田小学校では、6月15日の週から、いよいよプール開きです。子どもたちが楽しみにしていた夏が、本格的にやってきました。

以前は、6月といえばまだ気温が低い日も多く、寒すぎてプールに入れなかったことがよくありました。それで、プール開きがなかなかできない年もありました。今の子どもたちには信じてもらえないような、でも少し昔にはよくあったお話です。今では、寒さの心配をすることは、まずなくなりました。むしろ暑すぎるという理由でプールに入れなかったことが起こるようになってきました。

時代によっていろんなことが変わっていきませんが、あまり変わらないこともあります。たとえば、子どもたちの好きな季節はどうでしょうか。夏休みがあるというのが大きな理由だと思いますが、夏が好きな子どもが多いのは、今も昔もあまり変わらないように思います。そして、夏が好きな理由の一つは、海やプールでの水遊びではないでしょうか。

ただ、残念なことに、毎年水の事故が全国で起きています。実は、水の事故で亡くなる方のほとんどが、おぼれた人ではなく、助けようと水に入った人なのだそうです。とっさの行動を誰も責めることなどできませんが、おぼれかけている人を水の中に入って助けようとするのは危険です。トレーニングを積んだ救助隊員の人でも、できるだけ水に入らずに助けられる方法を使うそうです。

では、お友だちがおぼれかけていたらどうしたらいいのでしょうか。子どもでも、助ける方法があります。

一つは、大きな声で大人の人を呼ぶことです。子どもの声は、大人の声よりも高く、遠くまで響くので、周りに気づいてもらいやすいのだそうです。

もう一つは、水に浮くものを投げてあげることです。浮くものとして、ペットボトルを使うといいと聞きますが、ランドセルも浮かぶことをご存じでしょうか。お友だちに向けてランドセルを投げてあげたら助けることができます。また、自分自身がランドセルを背負った状態で水に入ると浮くそうです。

知っておくことが、何かの折の参考になるかもしれません。

【学校評議員さんの紹介】

学校の教育活動へのご支援とご意見をいただくため、学校評議員会を設置しています。

下記の6名の方に学校評議員をお願いしています。

奥谷 正実 様 (地域教育協議会名誉顧問)	泰井 直珠路 様 (南山田地区公民館長)
村田 紘一 様 (人権啓発推進協議会代表)	井上 忍 様 (南山田地区民生主任児童委員)
東 秀人 様 (南山田地区福祉委員会書記)	田中 一平 様 (元PTA会長)

どうぞ1年間よろしくお願ひいたします。

6月行事予定

		6月予定	
日	曜	行 事	検診等
1	月	プール清掃予備日 人権ビデオ週間(～5日)	
2	火	3年 校外学習(神戸どうぶつ王国) * 弁当持参 雨天決行	尿検査(2次)
3	水	児童委員会 Jアラート放送試験(11:00)	歯科健診 (2年・3年①)
4	木	全校朝会	歯科健診(6年)
5	金	学力向上研究授業 (2年14:30下校・2年以外13:15下校)	
6	土		
7	日	5年 林間学習①	
8	月	5年 林間学習②	
9	火	5年 代休	
10	水	2年 朗パ 4時間授業 個人懇談①	
11	木	児童朝会 4時間授業 個人懇談②	心臓検診(最終) 歯科健診(4年)
12	金	4時間授業 個人懇談③	
13	土		
14	日		
15	月	プール開き 4時間授業 個人懇談④ 第1期徴収金再振替日	
16	火	航空写真撮影(創立50周年記念行事)	
17	水	6年 朗パ	尿検査(最終)
18	木	4時間授業 個人懇談⑤	歯科健診 (1年・3年②)
19	金	6年 学力向上研究授業 (6年14:30下校・6年以外13:15下校)	
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水	3年 朗パ クラブ③	歯科健診(5年)
25	木	第2期徴収金口座振替日	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		

7月の主な行事予定

16日(木)	給食最終
17日(金)	終業式(3時間) 11:20頃下校

水泳学習がはじまります！

6月15日(月)より水泳学習が始まります。安全に無理のない水泳指導を行っていきます。

プールサイドで水分補給をするので水筒を持たせてください。

【ご家庭へのお願い】

後日配付します「水泳のきまり」を確認いただき、児童が安心して安全に水泳に取り組めるよう、特に以下の点についてご協力をお願いいたします。

- ① 朝ごはんを食べているか。熱はないかなどお子様の健康状態を把握してください。
- ② 見学する時は、必ず連絡帳で知らせてください。
- ③ 水着、水泳帽、バスタオル等持ち物がないと参加できず、見学となります。忘れ物がないようにしてください。
- ④ 目・耳・鼻・皮膚などの状態で気になる場所がある場合は、早めに受診してください。爪も切っておいてください。
- ⑤ 天候にかかわらず時間割どおり、水泳用具を持たせてください。
- ⑥ 水泳の日は、体力を消耗して疲れています。「早寝・早起き・朝ごはん」を特に大切に健康管理をお願いします。

【早退するときのお願い】

体調が悪い場合や、ご家庭の事情で早退させる場合には、対面での引き渡しは基本となりますので、原則として教室(保健室)までお迎えをお願いします。特別な事情でお迎えに来ることができない場合は、ご相談ください。

学校教育目標「心を磨き、志を育む」 ～その根を培う～

【み】自ら学び考える子 【な】なかまを思いやる子 【小】自分を大切に
【こ】こころ豊かな子

— 南山田小学校の教育活動紹介 —

支援学級 “ひまわり” ってどんなところ？

南山田小学校には、「ひまわり学級」という支援学級があります。

どの子どもにも、すばらしい所（その子らしさ）があります。

ひまわり学級では、その子らしさを大切にし、一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。

支援の方法としては、①通常学級での特別な教育課程を編成した個別指導（入り込み）

②支援学級での特別な教育課程を編成した個別指導（抽出）

③支援学級での自立活動（ひまわりタイム）があります。

支援学級での自立活動は、月2回程度「ひまわりタイム」として、小集団の中で自分を表現し、自信がもてるようにソーシャルスキルトレーニング・体づくり・ものづくり等に取り組みます。また、支援学級だけでなく通常学級でクラスの一員として友達と一緒に楽しく学校生活を送ることができるよう支援します。

学校の体制として、**特別支援教育コーディネーター**という教員がいます。

ひまわり学級に在籍している児童だけでなく、全ての児童一人ひとりの教育的ニーズに応じて支援を行っています。担任と特別支援教育コーディネーターが、子どもの様子を観察してどんなニーズがあるのか、どんな支援が必要なのか考えて、専門の関係機関と連携して手立てを探ります。そして、保護者の方の理解を得たうえで連携をとりながら特別支援教育を行っています。何かお子様のことでご心配なことがあれば、担任にご相談ください。

南山田小学校の支援教育の取り組み

- 教材等を活用して、全学年で障がい者理解教育に取り組んでいます。
- ひまわり学級についての出前授業を当該学年と連携して行っています。
- 山田中学校ブロックで支援教育の取り組みについて交流を行っています。
- 支援学級（ひまわり）の参観・懇談を行っています。
- 未就学児の学校見学や体験入級を行っています。

* 4月30日にさくら連絡網で配信した内容を、学校だよりにも掲載します。

来年度（令和9年度）の支援学級の入級および 通級指導教室の利用について

来年度（令和9年度）に支援学級（ひまわり学級）の入級または通級指導教室の利用を検討されている保護者の皆様に連絡します。

支援学級（ひまわり学級）に入るタイミングは、年間で1回だけで、年度の始まる4月です。通級指導教室も同じです。

来年度（令和9年度）の4月から、お子様の支援学級への入級または通級指導教室の利用をお考えの場合、以下のようなスケジュールになります。

下記④にありますように、7月時点で来年度の支援学級への入級、通級指導教室の利用について決定します。以前と比べてスケジュールが前倒しされています。ご注意ください。

- ① 個人懇談が始まるまでの4・5月に、保護者の方が気になる点について、担任に知らせる。
- ② ①を踏まえて、学校と家庭とで、支援学級への入級や、通級指導教室の利用の是非について、検討する。
※学校では、保護者の方の思いを把握し、子どもの学校生活の様子を観察します。
日程を調整したうえで、保護者の方と支援学級担当または通級指導教室担当の先生とで面談を行ったりします。
- ③ ②を踏まえて、6月の個人懇談にて、来年度の支援学級への入級または通級指導教室の利用をするかどうか、を決める。
※希望したからといって、すぐに入級や利用が決まるものではありません。十分な検討期間が必要です。6月の個人懇談の場ではじめて入級や利用の希望のお話が出ても十分な検討期間が確保できません。①でお示したように個人懇談の前の4・5月の段階で、お話を聞かせてください。
- ④ 7月に、学校から市へ、来年度の支援学級・通級指導教室の子どもたちの名簿を提出する。

※現在支援学級（ひまわり学級）に在籍していて、来年度（令和9年度）の4月に、支援学級からの退級をお考えの場合も、上記と同じスケジュールを進め、7月に決定をします。

※現在6年生で、来年度中学校進学後の入級をお考えの場合も、上記と同じスケジュールを進め、7月に決定をします。

熱中症予防対策について

5月に入って急に暑くなり、子どもたちは体が暑さに慣れることができていない様子です。梅雨入りを目前に控え、暑さが本格化する中、熱中症に更に気をつける必要があります。

本校では、体育の授業時間や休み時間に、次のような対策をとっています。ご家庭におかれましても、子どもたちへの声かけのご協力をよろしくお願いいたします。

【体育の授業時間・休み時間等の熱中症防止対策】

- 事前・事後の健康管理の徹底
(特に事後の体調(食欲がない・だるそう・少ししんどいなど)を確認する)
- 天気に関わらず、赤白帽等、必ず防止を着用させる
- 運動場・体育館・プールに必ず水筒を持っていかせる
- 暑い時間帯は、1回運動時間を15分程度に設定し、休憩時間は必ず日陰に移動し、給水タイムを設定する
- 体を動かした後は、空調の効いた教室で長めの休憩を設定する
- 室温23℃、湿度55%を目安に教室の環境をキープする

【児童への指導】

- 運動前は、自身の健康観察を行い、少しでもしんどいと感じるときは無理しないで言うこと
- 天気に関わらず、赤白帽等、必ず帽子を着用すること
- 休み時間は予鈴で戻り、空調の効いた教室で長めの休憩をとる
- 水筒のお茶は多めに持っていくことをお家の人に頼み、休み時間には喉が渴いていなくても必ず3口は飲むようにする

特に、校外学習の際のお茶の量について、ご家庭でお子様と十分にご相談ください

- 体を動かした後、少ししんどいと感じたら、我慢しないで先生に伝える
- 早寝早起きを心掛け、朝ごはんはしっかりと食べてくる
- これからの季節はマスクを着けたままの運動(外遊び・体育・クラブ・登下校など)は熱中症になる可能性が高いため、基本マスクは外す
- タオルを必ず持ってくる(汗ふきや洗顔や手洗い等で使う)